

■佐藤のりゆき 私の決意

私は、北海道で生まれて北海道で育ち、長い間北海道でアナウンサー・キャスターの仕事をしてきました。そして、いつかはこの北海道に骨を埋めます。そんな私がこの10年間北海道を見つめてきて感じる事は、北海道を船に例えると、「北海道丸」は大海の真ん中で前に進んでいないということです。やがて泥舟となり、沈没してしまうという危機感を感じています。

今、この北海道で頑張っている若者達とこども達は、やがてこの北海道で豊かに生きられるのか？と大変不安になります。

なぜ、北海道はこんな状態なのか？それはこれまでの10年間、北海道のリーダーには企画力と実行力がなかったからです。国とのパイプを強調してきた天下り官僚ですが、もう国とのパイプはありません。それどころか、北海道の財産を国に吸い上げられるパイプでしかありません。

今こそ、夢と希望と独立の気概のある自立プランが必要なのです。私は、18年間続いたテレビ番組「のりゆきのトーク DE 北海道」を終え、「北海道独立研究会」を作り、2年間北海道各地を歩き、農業漁業者や町のみなさんと語り、また東京の霞ヶ関の官僚達と語り合ってきました。その結果、北海道で今すぐやらなければならないプランが出来上がりました。もう中央官僚達からは「北海道は国のお荷物、いつまで日本にぶら下がっているのか」と言わせてはなりません。

その北海道の政策プラン集「佐藤のりゆきの新北海道デザイン」が出来上がりました。ぜひご一読ください。また、このホームページで政策プランを紹介していきます。